

森有禮 あり 外交官、教育行政家。弘化四年七月十一日薩摩國生まれ、
 明治二十一年二月十一日没（公一六九）。通稱助五郎、金之丞。變名
 澤井敷馬、澤井鐵馬。藩醫造士館に學び、元治元年藩の屬政所に入る。
 翌年イギリスに留學、うちアメリカに渡り慶應四年歸國。新政府に出任
 し外交畑を歴任、明治十八年初任文相。憲法發布當日、國粹主義者西
 野文太郎に刺され、翌日死去。

文獻、岡田常二郎編『明治世野文太郎の傳』（明治二十一年二月十一日
 書籍行尚社）、小山内薫著・蔵『森有禮』（大正十五年八月二十日改
 訂社）、大久保利謙著『森有禮』（昭和十九年四月）、『日本文教書院
 『日本教育先哲叢書』』、原田實著『森有礼』（昭和四十二年）二月七
 日教書店『世界思想家全書』、坂元盛秋著『森有礼の思想』（昭和
 四十四年五月十五石附專論信社）等。